

ジュニア・レポート Vol.2

福井県鯖江市進徳小学校
実施日：2018年3月8日(木)

学校紹介



東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー小中学校訪問の福井県訪問先は鯖江市進徳小学校。

2018年3月8日、全校児童約260名の小学校に、フラッグを持ってきたのは、アテネ2004オリンピック体操男子団体金メダリストの中野大輔（なかのだいすけ）さんです。フラッグ引継ぎセレモニーで、オリンピックフラッグを引き継いだ6年生の荒谷奈央（あらたになお）さんと藤極千津（ふじきわちず）さんにジュニア・レポーターとして、鯖江市の紹介やオリンピックに関する話を話していただきました。

自己紹介（荒谷奈央さん）



進徳小学校6年の荒谷奈央です。今日は、オリンピックフラッグを引き継ぎました。

私はスポーツはやっていませんが、小学校に入る少し前から書道を習っていて、今は準三段です。給食会場に掲げた「ようこそ中野大輔さん」と書いたのは私です。

自己紹介（藤極千津さん）



進徳小学校6年の藤極千津です。私はパラリンピックフラッグを引き継ぎました。

私は今年入ってからダンスを始めました。始めた頃はうまく踊れずイライラしたこともありましたが、うまく踊れた時はとても気持ちいいです。

鯖江市について



鯖江市はめがねのフレームが有名で、全国で作られているフレームのほとんどが鯖江産です。進徳小学校のすぐ近くにある西山公園も有名です。西山公園は季節毎に山の色が変わります。春になるとピンクになります。それから体操も有名で、鯖江市内で世界大会まで行った中学生がいると聞いたことがあります。

中野大輔さんの印象について



今日の講演を聞いて、努力したからこそ金メダルを取ることができたのだと思いました。金メダルはとても重かったです。

マスコット投票について

私のクラスは「ア」を投票しました。東京2020大会のエンブレムが市松模様なので、その市松模様が使われていたので、東京大会に似合っているマスコットだと思いました。また、オリンピックとパラリンピックのマスコットの統一感があったのは「ア」でした。

東京2020大会に期待すること

東京で開催されるので、多くの日本人選手の活躍とメダルラッシュを期待します。個人的には、卓球で金メダルを取ってほしいです。